



## 新年あけましておめでとうございます



今号の表紙は、杉風荘の年末年始の食事をお届けします。

大晦日の夕食は、年越しそばを召し上がっていただきました。年越しそばは、細長く切れやすいことから“細く長く暮らせる”“一年の厄を断ち切って新年を迎える”といった意味が込められているといわれています。

また、元旦にはブリの照り煮やなます、黒豆、伊達巻などのお正月らしい食事を食べて、新しい一年の始まりをお祝いしました。

利用者様からは「美味しい」「豪華だね」といった声とたくさんの笑顔をいただきました。



## 新春のご挨拶

上小阿仁村社会福祉協議会会長 小嶋 有逸

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝で輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、本会の活動、事業はもとより社協会費、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に対するご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年一年間を振り返ってみますと、本村では八月・九月に四年連続で大雨による被害を受けました。被災された方々には、改めてお見舞いを申し上げます。

全国的には、食料品等の生活必需品の値上がりも止む気配なく、日々の生活に大きな影響を及ぼしております。

ます。

こうした厳しい状況の中、福祉を取り巻く環境は、目まぐるしく変化し、少子高齢化の急速な進展や家庭、家族の介護力の低下などこれからの地域福祉のあり方が問われる時期となっています。特に認知症高齢者や一人暮らし高齢者世帯が増加傾向にあり、介護保険では対応出来ない生活支援ニーズや社会的孤立、貧困等を背景とする深刻な生活課題が顕在化しております。こうしたことへの対応にあたっては、公的な制度に基づくサービスだけでなく、普段から地域の人たちと顔見知りの関係になり互いに支え合う地域づくりが大切です。

このため、本会も、令和四年九月

からは職員が日々皆さんの自宅を訪問してちょっとした困りごとに対応、アドバイスをさせていただく「村の御用聞きプロジェクト」事業を実施。さらに、今年度からは村の子育て家庭を支援するため、おもちゃの遊びの場の提供や貸出を通じて、子どもの遊びの質の向上、保護者同士の交流を促進することを目的に「おもちゃ図書館」を開設。二つの事業を始め村民の皆様のご用命、ご利用を願っております。

結びに、本年が皆様にとりまして、穏やかで幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## クリスマス会

十二月二十五日(木)にクリスマス会を実施しました。デイサービスきらりでは、サンタさんからのプレゼントのほかに、今年は鏡芳会と鏡松会の皆様による日本舞踊披露も。上品

さのなかに力強さを感じる素敵な踊りに魅了されました。



## クリスマスプレゼント

訪問介護サービスご利用の方と生活支援ハウスにお住まいの方へ、クリスマスプレゼントをお届けしました。





## じぶんの町を良くするしくみ

### 赤い羽根共同募金運動

今年も上小阿仁小・中学校の児童・生徒の皆様、赤い羽根共同募金運動へご協力いただきました。

代表児童からは「大切に使ってください」、代表生徒からは「地域のために使ってください」との言葉とともに、当協議会会長へ手渡されました。

児童・生徒の皆様の村を想う心はもちろん、先生方・ご家族のご支援・ご理解に厚く御礼申し上げます。

また村民の皆様、企業の皆様、村で働く皆様など多くの方に協力いただきました。

### 街頭募金を行いました

#### 赤十字奉仕団

十二月一日(月)、NHK海外たすけあい全県一斉街頭募金が行われました。

村では道の駅において、日赤奉仕団と当協議会職員が募金運動を実施。当日は悪天候のなか多くの方が足を止め、ご協力してくださいました。

この募金は紛争、自然災

害、病気などで苦しむ世界各地の人々を支援する活動に役立てられます。

した。誠にありがとうございます。今年度の募金全体の集計結果は、社協だより四月号にて報告予定です。



## つながりささえあうみんなの地域づくり

十二月一日から三十一日まで「歳末たすけあい運動」が行われました。

この運動は「みんなで明るいお正月を」というキャッチフレーズから始まっています。地域で暮らす人々が孤立せず、安心して住み続けられるよう応援するのが目的です。

多くの方々にご賛同・ご協力いただきました。ありがとうございます。皆様からお預かりした大切なお金を通じて、たすけあいの気持ち・思いやりを届けます。

また、この募金を活用して村内にある三つの社会福祉施設へ、フェイスタオルを贈呈しました。



友生園



杉風荘



## ふれあい福祉まつりを開催しました

十二月三日(水)に毎年恒例の『ふれあい福祉まつり』を実施しました。これは日頃「村民ふれあい事業」へのご理解・ご協力いただいている皆様へ感謝の気持ちを込めた、年に一回の感謝祭となっています。今年は百人以上の方がお越しくださいました。

昨年も大盛り上がりだった「社協会長杯争奪カラオケ大会」。第二回目の大会も昨年同様に、審査員三名と機械の採点によって総合的に優勝を決めます。今年は十組が参加しました。煌びやかなステージ衣装を身に纏う人もいれば、バックダンサーを引き連れて歌う人もいて、昨年よりさらにパワーアップ！観客は歌唱中に合いの手を入れたり手拍子をしたりするなど、大いに盛り上げてくれました。

振る舞ったきりたんぽは調理ボランティアさん達が前日から仕込んでくださったものです。モチモチのたんぽに鶏ガラ出汁がよく効いたスープはまさに絶品。「おいしい」との声があちこちから聞かれました。

この他にも職員の永年勤続表彰式や誰でも歌えるカラオケコーナーなどを行いました。皆さんに満足して



いただけたら幸いです。昨年も「村民ふれあい事業」へのご理解・ご協力ありがとうございました。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

## カラオケ大会結果

・優勝 鈴木 一義さん  
(沖田面)

・準優勝 田中 喜昭さん  
(上五反沢)

・第三位 石上 正行さん  
(沖田面)

・特別賞 武石 菅子さん  
(生活支援ハウス)



## 職員表彰

・秋田県知事表彰  
「社会福祉功労者」

福祉センター  
北林江利子、加藤 真紀

・秋田県社会福祉協議会会長表彰  
「永年勤続」

杉風荘  
平川恵理子、小林真由美  
田中和香子

・全国老人福祉施設協議会会長表彰  
「永年勤続」

二十年 福祉センター  
石上 千晶、伊藤美保子  
山田ちづ子、長谷川美香子  
松浦小百合、加藤 真紀

杉風荘  
門松 桂子、萩野 里実  
平川恵理子、浅野真由美  
石上美加子、小林真由美  
田中和香子

十五年 福祉センター  
畠山 和美、山形留里子  
杉風荘  
武石 昭市、小林太美子  
原田美和子、福岡美智子  
萩野 未来



## 協力団体の動きをご紹介します

## ふれあいお弁当

十月三十日(木)、食生活改善推進員、男性の料理教室参加者、応募のあったボランティア、そして民生児童委員協議会の方々により美味しそうなお弁当が作られ、八十歳以上の高齢者世帯を対象に高齢者ふれあいお弁当として配布されました。

老人クラブ連合会が  
全国表彰を受賞しました

令和七年十一月五日、六日に行われた第五十四回全国老人クラブ大会において、上小阿仁村老人クラブ連合会(清水俊一会長・大海)が「優良老人クラブ連合会活動賞」として表彰されました。

「優良老人クラブ連合会活動賞」は、設立十年以上の老人クラブ連合会のうち、活動が優秀で他の模範となるような団体に授与される賞で、令和



七年度は全国で十八団体が受賞しています。

老人クラブ  
文化祭に  
参加しました  
老人クラブ連合会

十一月十九日(水)、あきた芸術劇場ミルハスにおいて老人クラブ文化祭が開催されました。

この文化祭は、生きがいや健康づくりの一環として行われており、令和七年で二十九回目を数えます。県内二十市町村から三十四団体、約六百人が参加しました。

ブラウンドゴルフ  
同好会がゴルフセット  
を更新しました

上小阿仁村ブラウンドゴルフ同好会(清水俊一会長)では、県社協の「高齢者が活躍する場づくり助成金」を獲得して、沖田面運動広場のゴルフセットを更新整備しました。

高圧洗浄機を  
寄贈して  
いただきました

社協では、民生児童委員協議会様から高圧洗浄機一台を寄贈していただきました。災害時の復旧作業等に活用させていただきます。ありがとうございます。



## 歳末たすけあい弁当をお届けしました

十二月三十日(火)、歳末たすけあい募金を活用して、八十歳以上のお一人暮らし九十名の方に、社協職員が手分けしてお弁当をお届けしました。受け取ったみなさんから「毎年楽しみにしてるよ」「ありがとう」といった喜びの声を頂戴しました。



# 善意の窓

令和七年十月一日から、令和七年十二月三十一日まで、に寄せられた善意をご紹介します。(敬称略)

## ○香典返し・寄付金

沖田 面	原田 晴美
福田 館	伊藤 幸利
沖田 面	山田 耕悦
南 沢	清水 誠
小沢 田	伊藤 勝哉
沖田 面	齋藤 重男
北秋田市	工藤 恒樹
北秋田市	鈴木 達郎
大阿瀬	萩野 幸子

## ○物品寄付

大 林 鈴木 和春  
(お米)

皆様からの善意は、地域福祉活動に有効に使わせていただきます。  
ありがとうございました。



## お米を寄贈していただきました

村出身で、現在は県外にお住まいの方から、ふるさと納税を通じてお米85kgをお贈りいただきました。寄贈してくださった方の温かい思いに触れ、職員一同うれしく思います。

このお米は「村民ふれあい食堂」などで大切に使用する予定です。この度は誠にありがとうございました。



## ～ふれあい広場にどうぞ～

毎週水曜日、福祉センターで「村民ふれあい・支えあいの広場」を開催中です。囲碁・麻雀・カラオケ等を楽しんでみませんか。

また、第1水曜日は、ふれあい食堂。お友達とカレーを食べに来てください。第3・第4水曜日は、鷹巣のショッピングセンターへ送迎する買い物支援ツアーを実施しています。参加希望の場合は、事前に社協までご連絡をお願いします。買い物の見守りボランティアも募集中です。参加費は、それぞれ、こあにドルで200ドルです。無くても大丈夫。ご相談ください。

## 除排雪中の事故にご注意を

例年1～2月は、降雪量が多く、雪下ろし等の除排雪作業中の事故が増える傾向にあります。

県では、令和8年1月3日(土)～1月11日(日)までを「秋田県雪害事故防止週間」と定め、除排雪作業中の安全対策を呼びかけています。雪下ろしや除排雪作業を行う際はヘルメットや命綱の装着など、安全対策の徹底とともに、気象情報に十分留意して事故防止に努めましょう！

### 【安全対策のポイント】

- 1 無理はしない。作業中はこまめに休憩を！
- 2 ふたり以上で作業を！
- 3 適切な服装で！
  - ・防寒着：着ぶくれを避け、薄手で防水性のあるもの
  - ・手袋・靴：すべりにくく、防水性・防寒性のあるもの
- 4 ヘルメット・命綱・安全帯の装着を！
- 5 「はしご」はしっかり固定！
- 6 屋根の雪のゆるみ（落雪）に注意！
- 7 除雪機利用中の事故に注意を！
  - ・回転部の作業はエンジンを止めてから
  - ・作業中の転倒注意と周囲の安全確認を

